

社会福祉士実習指導者勉強会

『どう変わった？ 2021年施行

新カリキュラムにおける実習指導』

2021年4月より、社会福祉養成カリキュラムが変更され、実習についても実習時間の増加や、2カ所以上の実習先に行くことが必須となる等の変更がありました。日本社会福祉士会においても、新養成カリキュラムに対応した実習指導者講習会のプログラムが見直されています。

当勉強会では、奈良県の社会福祉士実習指導者講習会で『実習概論』『実習マネジメント論』の講義を担当して下さっている梓川 一先生より、新カリキュラムに準拠した実習指導について、ポイントをわかりやすく解説して頂きます。また、実習機関へ送り出す側としての思い、教育現場における現状等、養成校教員としてのお立場ならではのリアルなお話を聞き、意見交換ができる貴重な機会となります。多数の方のご参加をお待ちしております。



- ◎日 時 令和4年11月26日(土)
10:00 ~ 16:00 (途中休憩あり)
- ◎主催 一般社団法人 奈良県社会福祉士会 実習指導者研修委員会
- ◎対象者 昨年度までの旧カリキュラムに対応した実習指導者講習会を受講された方
関心のある方はどなたでも 【参加可能最大人数 90名】
- ◎参加費 一般 4,000円 社会福祉士会会員 2,000円
- ◎内容 ZOOMによるオンライン勉強会(LIVE講演 演習 質疑応答を予定)
講師：静岡英和学院大学人間社会学部教授 梓川 一 氏
- ◎申込方法 下記にアクセスいただき、お申し込みください。

入金確認後、ZOOMアドレスをお知らせします。🔒切 令和4年11月8日(火)



※コンビニ / ATMでのお支払いは、令和4年11月7日(月)まで

Peatix (<https://peatix.com/event/3313302>)

問合せ先：一般社団法人 奈良県社会福祉士会 事務局

〒634-0061 奈良県橿原市大久保町320-11 奈良県総合社会福祉総合センター5階

電話：0744-48-0722 fax：0744-48-0723 e-mail：nara-csw@poppy.ocn.ne.jp

◎留意事項

- ・勉強会参加には、パソコン等の機器とインターネットに接続できる環境が必要です。
- ・インターネット環境は各自で用意してください。通信料等は各自の負担となります。
なお、使用する機材や契約等により、通信料が高額となることも想定されますので、
予めご確認下さい。
また、通信環境・通信機材等については、受講前に各自でご確認下さい。
- ・本勉強会では、ZOOM ミーティングを使用しますので、事前にご自身で ZOOM アプリを
ダウンロードしておいてください。
本勉強会受講のみであれば、ZOOM アカウントの取得（サインアップ）は不要です。
- ・お預かりした個人情報、本勉強会の運営及び関連研修のご案内以外の目的には使用
いたしません。
- ・キャンセルされる場合は、キャンセル手数料（340 円）をご負担いただきます。
※クレジットカード支払いの場合は、支払い後 50 日未満であれば手数料なし。

講師 梓川 一（あずさがわ はじめ）先生の略歴

静岡英和学院大学 人間社会学部 教授

関西学院大学 人間福祉学部 非常勤講師

豊岡短期大学 通信教育部社会福祉士養成通信課程 非常勤講師

大阪市立大学商学部卒、大阪市立大学大学院 生活科学研究科修了。博士（臨床福祉学）。パナソニック(株)勤務、近畿大学豊岡短期大学助教授、千里金蘭大学人間社会学部准教授、関西学院大学人間福祉学部准教授等を経て、現職。

専門は、ナラティブ、当事者活動、ソーシャルワーク教育、地域福祉。

社会活動として、猪名川町地域福祉計画・社会福祉審議会長、西宮市社会福祉協議会ボランティアセンター運営委員会委員長、西宮市社会福祉審議会身体障害福祉専門分科会長、豊能町社会福祉審議会委員長などを務める。

著書に、『社会福祉原論』（共著：建帛社）、『転換期の医療福祉』（共著：せせらぎ出版）、『障害者福祉論』（共著：ミネルヴァ書房）、『実践から学ぶ社会福祉』（共著：保育出版社）、『ソーシャルワーカーとケアマネジャーのための相談支援方法』（共著：久美出版）などがある。論文に、「人生の質的転換」（単著：日本保健医療行動科学会誌年報 第 23 巻）、「人間教育に基づく実践力のあるソーシャルワーカーの養成」（共著：日本医療社会福祉学会誌 第 21 巻）、「初年次実践教育の方法に関する研究」（共著：関西学院大学高等教育研究 第 6 号）、「初年次実践教育において涵養されること」（共著：Human Welfare 第 10 巻 第 1 号 関西学院大学）、「難病者を取り巻く社会環境と生活支援」（単著：経済学論纂中央大学第 59 巻 3・4 合併号）、「ささえあいから生まれる『苦悩の語り』と価値認識の変容」（単著：日本保健医療行動科学会雑誌 第 34 号巻 第 2 号）、「初年次実践教育の効果の探究」（共著：日本社会福祉教育学会誌 第 22 号）などがある。

